

鉄骨部材から赤錆の定義及び赤錆の発生程度による修理方法は次の通りとしています。

1. 赤錆の定義

1) 赤錆の発生面積が大きい場合

保証対象となる赤錆の定義	発生レベル	無料修理内容
赤錆の発生が認められる 部材表面積の0.01%以上の赤錆	現場補修可能な赤錆	対象部材の現場補修
	現場補修不可能な赤錆	対象部材の部材交換

*部材表面積の0.01%の赤錆の目安

部材名	保証対象の赤錆面積の目安
柱	1.0cm ² (1.0cm四方)
根太	0.5cm ² (0.5cm四方)
けた	1.7cm ² (1.3cm四方)
ササラ朽	2.6cm ² (1.6cm四方)
打付材	1.4cm ² (1.1cm四方)

2) 赤錆が点在している場合

保証対象となる赤錆の定義	発生レベル	無料修理内容
赤錆の発生が認められる 部材評価面積の0.02%以上の赤錆	現場補修可能な赤錆	対象部材の現場補修
	現場補修不可能な赤錆	対象部材の部材交換

*部材評価面積とは赤錆の点在が著しい部位の10cm×5cmの面積を言い

評価方法はJISZ2371塩水噴霧試験方法によるレイティングナンバ法による
レイティングナンバ9.8の標準図により評価します。

●お問合わせは

文化シヤッター株式会社

本社／〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3
TEL. 03(5844)7111(代表)

文化シヤッターの

屋外鉄骨階段廊下ユニット

お施主様・オーナー様用

取扱説明書

- | | |
|------------|----|
| 1. ご使用上の注意 | 3 |
| 2. 各部の名称 | 5 |
| 3. お手入れ方法 | 8 |
| 4. 点検 | 9 |
| 5. 製品保証 | 10 |

このたびは、文化シヤッターの屋外鉄骨階段廊下ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この説明書をよくお読みになり、正しくご使用になるようお願いいたします。
アパート(貸家)などのオーナー様は入居者の方に注意事項をご説明していただくようお願いいたします。

また、お読みになった後は、見やすいところへ大切に保管し、わからぬことや不都合が生じた時には、もう一度ご覧ください。

J 114

2008.09-00-J

BX 文化シヤッター

⚠ 安全にお使いいただくために

- 本取扱説明書では、安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、次のようなシンボルマークとシグナル用語を使用しています。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合。（高度な危険を含む）



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

お願い

特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと製品の損傷や不具合につながる場合。

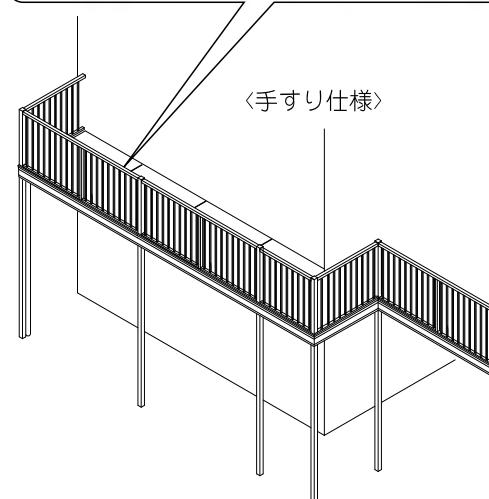
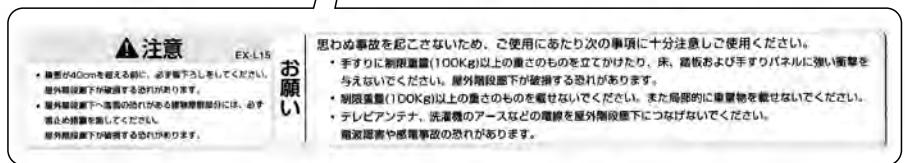
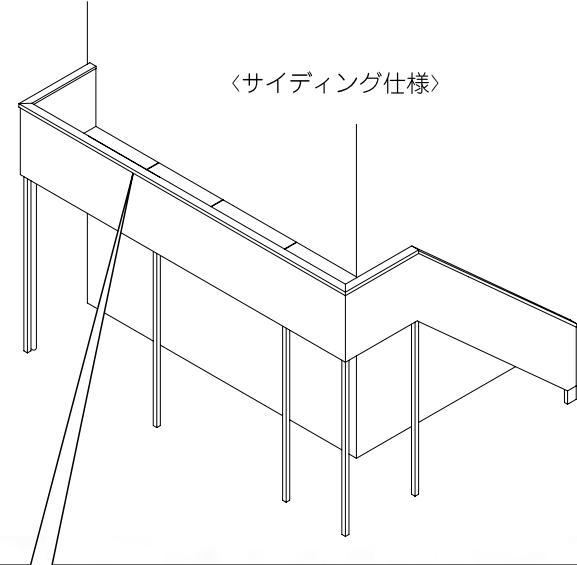
- 上記以外の「お知らせ」には、次のようなシグナル用語を使用しています。

注記

取扱いを誤った場合、本製品に故障が発生したり、性能が発揮できないことが想定される場合。

表示ラベルについて

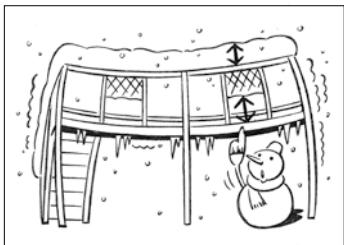
- 本製品には、危険と安全に関する注意情報を記載した、下記の表示ラベルを貼付けています。表示ラベルの指示に必ず従ってください。
- 表示ラベルが汚れたり、はがれたりした場合は、最寄りの文化シャッター営業所までご連絡ください。



1. ご使用上の注意



次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながるおそれがあります。



積雪量が以下の制限積雪量を越える前に必ず雪下ろしをしてください。屋外鉄骨階段廊下ユニットが破損するおそれがあります。制限積雪量は表示ラベルにより商品に貼り付けてありますのでご確認ください。

制限積雪量：約 40 cm



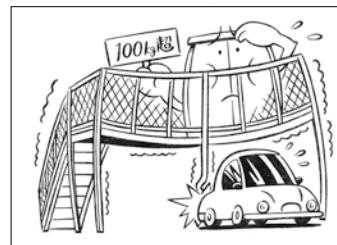
建物の屋根から落雪のおそれのある場所に屋外鉄骨階段廊下ユニットを設置している場合は必ず建物の屋根に「雪止め処置」を施してください。「雪止め処置」が施されていませんと建物の屋根からの落雪により屋外鉄骨階段廊下ユニットが破壊するおそれがあります。



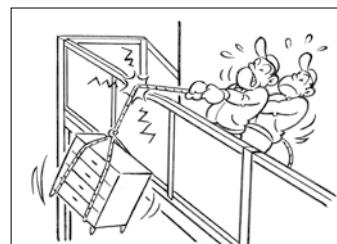
床材や踏板にひびや割れがある場合は直ちにご使用を中止し、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社支店、営業所に修理をご依頼ください。そのままご使用になると落下するおそれがあります。



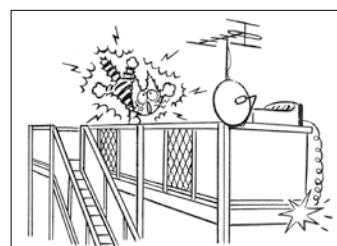
思わぬ事故を起こさないため、ご使用に当たり次の事項に十分注意しご使用ください。



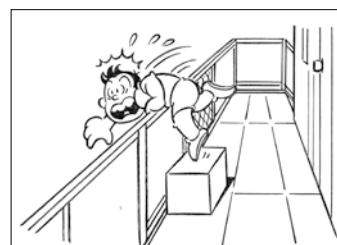
屋外鉄骨階段廊下ユニットの柱、アルミ手すり、床材、踏板に強い衝撃を与えたる、アルミ手すりに 100 kg 以上の重さのものを立てかけたりしないでください。また床材、踏板に合計 100 kg を越える物を設置しないでください。屋外鉄骨階段廊下ユニットが破損するおそれがあります。



屋外鉄骨階段廊下ユニットにロープをかけて荷物の上げ下ろしをしないでください。屋外鉄骨階段廊下ユニットが破損するおそれがあります。



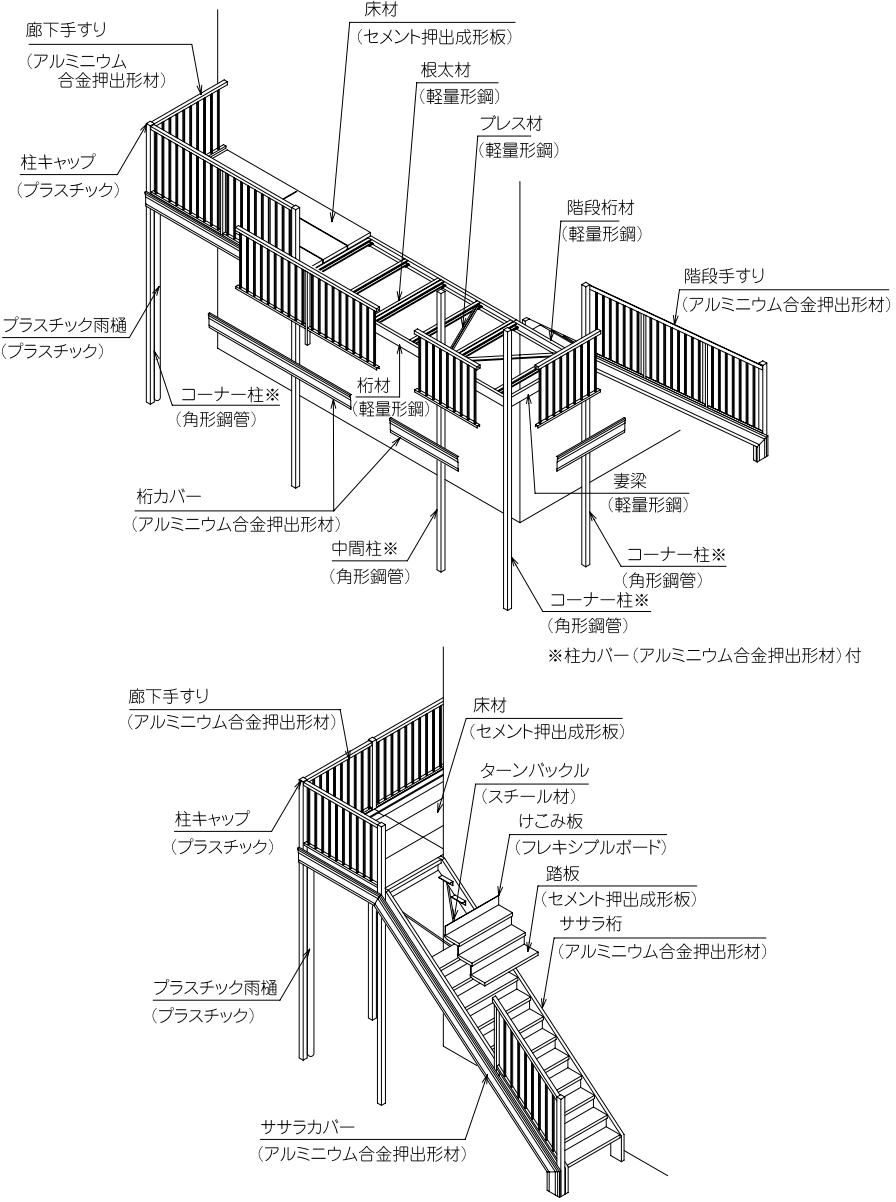
屋外鉄骨階段廊下ユニットにテレビアンテナ、洗濯機などのアースなどの電線をつなげないでください。テレビの映りが悪くなったり、感電する恐れがあります。



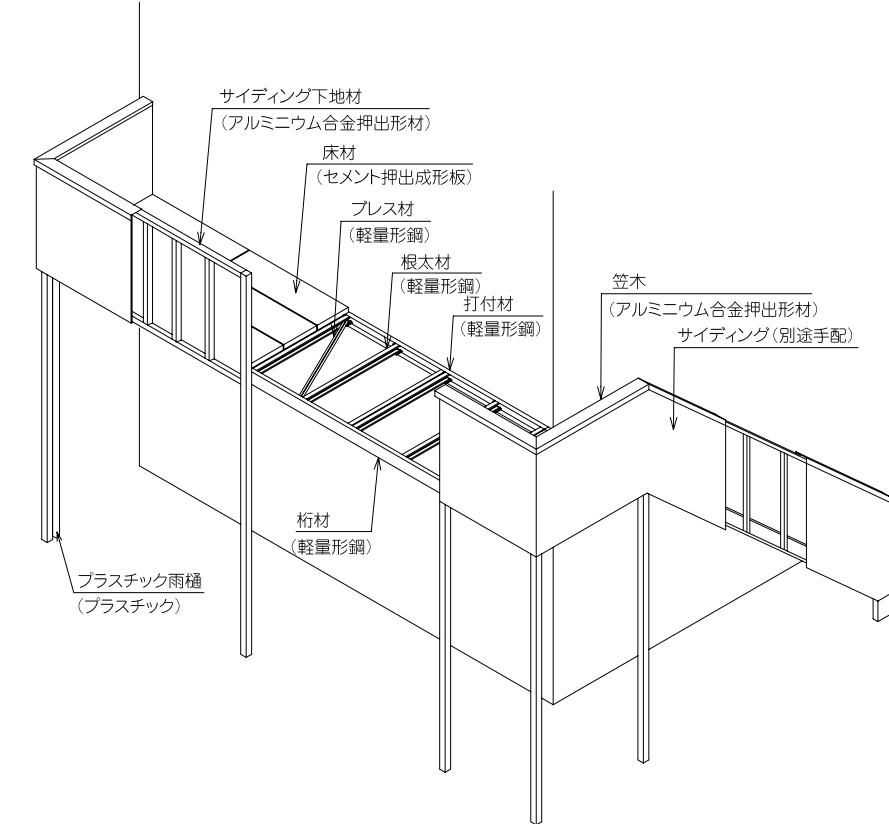
お子様が、アルミ手すりの側にいる時は、絶対に目を離さないでください。また、アルミ手すりの近くには、植木台や箱などのように足がかりとなる物を置かないでください。お子様が上にのって転落するおそれがあります。

2. 各部の名称

手すり仕様



サイディング仕様



製品仕様

●強度性能

項目	性能基準
鉛直荷重強度	床部 1,800N/m ² (約180kgf/m ²) *ただし、制限重量は100kg/m ² 以下
	踏板部
笠木水平荷重強度	4等分点2線荷重方式で1500N(約150kgf)
笠木鉛直荷重強度	4等分点2線荷重方式で1000N(約100kgf)
笠木衝撃荷重強度	砂袋(75kgf)による衝撃荷重試験で壊れない。
格子(パネル)の衝撃荷重強度	砂袋(75kgf)による衝撃荷重試験で壊れない。

●使用条件

項目	屋外鉄骨階段廊下ユニット
周辺温度	-10°C ~ 40°C
周辺湿度	RH 85%以下
周辺環境	著しい腐食環境を除く。

※正常なご使用でも自然摩耗、変色が発生する場合があります。

また、環境が特に悪い地域や場所の場合、腐食の発生が著しい場合があります。

3. お手入れ方法

いつもきれいにお手入れすることが長持ちさせる一番の方法です。
定期的なお手入れをおすすめします。

- アルミ手すりなどのアルミニウム合金部材およびササラ柄などの塗装部材
屋外鉄骨階段廊下ユニットのアルミ手すり、柱カバー、ササラカバーなどはさびにくいアルミニウム合金で、ササラ柄などの塗装部材は鋼材に溶融亜鉛メッキにより防錆処理した上に仕上塗装したさびにくい材料で構成されております。
 - ①表面の汚れは、柔らかい布で汚れを水ぶきしながら落とし、その後カラ拭きしてください。ふき取りには柔らかい布をご使用ください。キズはさびの原因となります。
 - ②汚れがひどい場合は、中性洗剤（台所用洗剤など）をぬるま湯で薄めて使うと効果的です。汚れが落ちたら必ず水拭き後、カラ拭きしてください。
 - ③酸性、アルカリ性洗剤は使用しないでください。変色の原因になります。
 - ④お手入れは下記の間隔を目安に行うとより効果的ですが汚れの程度によりこまめなお手入れをおすすめします。
 - ・臨海工業地帯（京浜、中京、京阪神など）及び海岸地帯：毎月1回
 - ・工業地帯及び大都市部：2ヶ月に1回
 - ・中小都市部：3ヶ月に1回
 - ・田園地帯：4ヶ月に1回

■床材および踏板

床材および踏板はセメント成形板を使用しています。

表面の汚れを長期間放置しますと汚れが落ちにくくなりますのでご注意ください。

- ①表面はほこりや落ち葉などがたまりやすいので、こまめに掃き掃除を行い、取り除いてください。特に床材の雨樋部はほこりや落ち葉などがたまりやすいのでこまめに掃除してください。ごみ、ほこりを放置しますと排水機能を妨げ、床面の水たまりや床下への水漏れの原因になります。また、床には完全な防水性能はありませんので大量の水を使用しての掃除などはさけてください。床下へ水が漏れるおそれがあります。
- ②表面の汚れは、濡れ雑巾やモップなどで汚れを落としてください。水洗いなど大量の水を使用しての掃除はさけてください。表面が乾くまでの間、滑りやすくなり大変危険です。また、床下への水漏れの原因になります。

4. 点検.

日常点検

▲ 注意

日常の使用で不具合や異常を発見した場合、直ちに使用を止め、お取り扱いの施工店、工務店、販売店または当社支店、営業所に修理をご依頼ください。

1 下記以外でも不具合や異常を発見した場合は同様の対処をしてください。

●不具合や異常の一例

- ①床材、踏板にひび、へこみ等が有る場合
- ②鉄骨部材に傷や赤錆などがある場合
- ③商品の各部にガタツキや変形などが有る場合

2 表示ラベルの破れ、はがれなどの破損がないかご確認ください。読めなかったり、正しく貼られていなかったり、破損していたりしたら、新しいラベルと交換してください。

消耗品の交換の目安

屋外鉄骨階段廊下ユニットに使用している部品には、表面上は正常に見えても経年劣化などにより機能が低下するものがあります。製品を長持ちさせるために早めの部品交換をおすすめします。部品の交換の目安は下表を参考してください。

部材種類	交換の目安	
	外観	年数
プラスチック雨樋 その他プラスチック部品	変色、へこみ、きず、ひび、割れなどの異常がある場合	7年

※交換の目安年数は取付後の年数です。

※交換の目安年数は使用状態、使用環境により大きく異なります。

※交換の目安年数は保証期間ではありません。

5 製品保証

本書は、当社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に当社の責任により故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社支店、営業所に修理をご依頼ください。

保証期間

施工業者よりの引渡し日（注1、注2）から2年間とします。

製品の鉄骨部分からの赤錆の発生（注3）については5年、製品からの雨水侵入（建物の構造体を通して雨水が室内側に侵入すること）については、10年間とします。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

（注3）赤錆の発生は裏面の「製品保証の補足説明」をご参照ください。

保証内容

取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き、無料修理いたします。

ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。

免責事項

- ① 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合、又はこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ② 製品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗。木製品のそり、干割れ等）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）、またはこれらにともなう錆、かび、またはその他の不具合
 - ③ 製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
 - ④ 自然現象や使用環境に起因する不具合（例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など）
 - ⑤ 表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど）
 - ⑥ 建築躯体の変形など、製品以外に起因する製品の不具合
 - ⑦ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑧ 当社の手配によらない加工、組立、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事など）、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など）
 - ⑨ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部分の取外しを含む）に起因する不具合
 - ⑩ 引き渡し後の操作誤り、整備不良又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑪ 使用に伴う接触部分の摩耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部分の変質・変色、めっきの劣化又はこれらに伴う錆などの不具合
 - ⑫ 施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合
 - ⑬ 犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物又はつるや根などの植物に起因する不具合
 - ⑭ 機能上支障のない音、振動など感覚的現象
 - ⑮ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
 - ⑯ 住宅用途以外で使用した場合の不具合
 - ⑰ 当社製品が起因しない赤錆やもらい錆などの不具合
- ※ 保証期間経過後の修理、交換などは、有料とします。
- ※ 本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。